

優秀賞

木質化部門

岐阜市立長良小学校

施主：岐阜市

設計者：大建・大建met設計共同体

施工者：市川・雛屋・土本特定建設工事共同企業体



校舎のフローリング、木製建具、廊下との間仕切り壁、腰壁、教室の家具は全て県産材のヒノキ、スギ、クリを使用しており、全ての部屋、廊下が木の手触りや香りを楽しめる空間となっています。

連続したサブスペース・共用部分と教室とを仕切るのは構造体となっているコンクリート壁と大きな木製建具のみで、閉じて開いても大きな木面が現れる構成としています。



長良小学校では「『たくましさ』を培う教育の創造」を研究テーマにし、「みずのわ学習」をはじめとする異学年学習、児童の自主性や創造性を生かした教育的取り組みが行われています。このような取り組みをより発展させる学校施設の整備方針を学校等と協議し、児童が積極的に施設内外のスペースをつかい、自分たちで工夫し学びの場、遊びの場として創造できるように以下の特徴を持った設計を行いました。

- ・中と外の連続性、障害のない学習空間
- ・「ワークスペース」「少人数学習教室」「コミュニティデッキ」「メザニンフロア」といった学習及び交流のための多様な場
- ・多様化する学習に対応できる配置と開放的空間の連続「雁行配置」

これらの特徴により、ひとつながりの空間を作りながら、状況に応じて適切に分節が可能な構成とすることで多様で柔軟な場所づくりを実現しました。そしてそのひとつながりの床、分節するパーテーション・建具のほとんどを県産材の木で作っています。

最も手に触れる部分や空間の構成上重要なエレメントをふんだんに木質化することで、木の香りや温かな質感を感じ、同時に環境保全に対する理解の促進にも貢献しています。

用途：小学校・共同調理場・公民館
住所：岐阜市大字長良字町裏259他3筆
竣工：令和4年9月
延床面積：17,072.98㎡
階数：2
県産材使用量：121.87㎡



教室とワークスペースをはじめとするサブスペースに連続性を持たせ柔軟性の高いプランニングとしたことで、県産材木の床と建具に包まれた広がりのある空間を実現しています。